

日産厚生会玉川病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究課題名（研究番号） 胸腔子宮内膜症性気胸における術後再発機序の検討
(No.)

当院の実施責任者 大橋康太（気胸研究センター）
(所属)

他の研究機関および なし

各施設の研究責任者（所属）

本研究の目的

胸腔子宮内膜症性気胸（TEP）は30-40歳代の女性に発症する難治性の病気です。何らかの理由で本来お腹にある子宮内膜組織が肺の表面や横隔膜などに存在しています。その子宮内膜組織が生理周期に合わせて脱落し、肺や横隔膜に穴を開けてしまうので胸の中に空気が溜まる状態が何度も繰り返されます。

TEPの治療は手術が一番いいのではないかとされており、手術による治療を行っています。しかし、若い男性の方が起こす気胸とはことなり、手術を施行しても再発する確率は約3割と高率です。手術した後の治療については多くの議論がされており、決まったものではありません。当センターでは気胸を繰り返し再発するので再度の手術をすることがあります。再手術における術中画像、切除病変、初回手術との違いを比較することで再発する原因について研究することを目標としました。

今回、2018年1月から2023年9月までにTEPの手術後に再発したので再手術を受けた方を対象として調査いたします。

本研究を学会、論文発表することで、TEPの術後再発の原因がわかることで、将来的には手術成績向上に役立つことが期待できます。倫理委員会承認後から2025年3月31日まで

調査期間

研究の方法
(使用する試料等)

●対象となる患者さま

当院で2018年1月から2023年9月までにTEPに対しはじめて手術を受けた方

●利用する情報

カルテに記載のある診療記録、手術動画や画像データを利用します
共同研究施設以外への試料・情報の提供はありません

試料/情報の他の研究機関への
提供および提供方法
個人情報の取り扱い

利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除し解析を行います。また、研究成果は学会や論文等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。本研究のために収集したデータは共同研究以外では使用せず、研究終了後5年間保管し、その後はすみやかに消去します。

本研究の資金源
(利益相反)

お問い合わせ先

備考

本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません

電話：03-3700-1151（代表）

担当者：大橋康太